



National Institute of Technology, Toyama College



02 商船学科卒業証書・海事システム工学専攻修了証書授与式

04 学生のクラブ活動・課外活動

05 高専祭—志峰祭—

06 高専ロボコン

08 県外工場見学・流通見学・乗船実習

10 県内工場見学(3年生)／校外研修(2年生)

11 教務主事からのメッセージ／企業研究会

12 教員の表彰一覧/News & Topics /平成30年度入試情報

平成29年度

商船学科
卒業証書

海事システム工学専攻
修了証書

授与式

Commencement



思い出を胸に人生の航路を切り開く

商船学科機関コース
卒業生

竹村 希望



5年半の高専生活

少しの不安と、夢と希望で胸を膨らませ入学してから、5年半の時間が流れました。寝食を共にした若潮丸での乗船実習、一致団結して競ったカッターレース等、皆と過ごした時間が楽しく、懐かしく思い出されます。

1年間の練習船実習では、厳しい教官の指導の下、罵声を浴びる日々を過ごしました。電波も入らない場所での慣れない生活にストレスを感じることも多くありました。そんな時、互いの心を思いやり、助け合った仲間は私にとって一生の宝です。そして、今の私たちの生活はとても恵まれていると改めて実感しました。このような環境があるのも5年半ずっと支えてくれた家族、先生方のお陰です。共に過ごした5年半は、長いようで、あっという間に時が経ち、卒業を迎えました。高専で学んだ事、体験した事を礎にそれぞれの道を歩んでいきます。これから先、辛く、苦しい事もあるかもしれませんが、前向きに突き進んで行きたいと思います。今日まで、お世話になった多くの方々への感謝の心を忘れず、日々精進しがんばります。

海事システム工学
専攻 修了生

神田 侑希



専攻科修了を迎えて

長かったようであったという間の7年半の間、お世話になった富山高専とお別れです。気づけば小学校よりも長く通いました。5年次に、私は機関科4人と共に専攻科へ進む決断をしました。専攻科では予想以上に研究時間が膨大に増え、すぐに就活時期が到来しました。数少ないクラスメイトともなかなか会えず喋れず、本当に専攻科でよかったのかと考えた日もありました。しかし今、修了を迎え、この2年間の経験と、勉強ができる幸せを感じる事ができ、たくさんの得たものがあつたと確信しています。専攻科という選択をして正解だったと思っています。私は10月から航海士になりますが、すでに働いている友人からは、苦労の話しか聞きません。それでもこの道に進むと決めたからには、最後まで自分の夢を追いかけて進み続けようと思っています。専攻科での経験と同様に毎日が学びの場であり、自分を成長させるチャンスです。家族、友人、教職員・保護者の皆様、生協のおばちゃん方、バスの運転手さん、その他書ききれませんが私を支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。これからは、航海士として油を運び、皆さまの生活を縁の下の力持ち的立場から支え、恩返ししていけたら幸いです。

平成29年度卒業生・修了生

商船学科／航海コース17名、機関コース18名 海事システム工学専攻／4名

主な進路(五十音順)

商船学科

■就職先

上野トランステック(株)、オーシャントランス(株)、川近シップマネージメント(株)、川崎汽船(株)、五栄土木(株)、佐渡汽船シップマネジメント(株)、(株)商船三井、商船三井フェリー(株)、成山堂書店、ダイキン工業(株)、(株)ダイトーコーポレーション、東海汽船(株)、東洋ガスメーター(株)、新潟造船(株)、日本海運(株)、日本郵船(株)、福寿船舶(株)、YKK(株)

■進学先

神戸大学海事科学部、東京海洋大学海洋工学部、富山高等専門学校専攻科

海事システム工学専攻

■就職先

旭タンカー(株)、川崎汽船(株)、日清工業(株)、YKK(株)

学生表彰

名称	航海コース	機関コース	海事システム工学専攻
全日本船舶職員協会賞	中道 結実	喜多 大樹	神田 侑希
学業優秀賞	安部 斗輝	三輪 優香	
特別賞	笹谷 泰二		
海技教育財団会長賞	高柳 有菜穂	今泉 勇平	
日本航海学会奨学褒賞	澤田 実希		
日本船舶海洋工学会奨学褒賞	早平 光志郎	竹村 希望	
日本機械学会島山賞		沢田 晴菜	
日本マリンエンジニアリング学会 優秀学生奨励賞(山下勇賞)		古賀 寛人	

平成29年9月26日(火)午前10時より、富山高等専門学校射水キャンパス第2体育館において、平成29年度商船学科卒業証書授与式及び専攻科海事システム工学専攻修了証書授与式が挙行されました。

まずは本校の賞雅寛而校長から、航海実習用の白い制服に身を包んだ商船学科卒業生35名へ卒業証書が、専攻科海事システム工学専攻修了生4名へは修了証書が手渡されました。

この後、賞雅寛而校長から、「本校で学んだ知識や技術、問題解決能力を海事産業、我が国、さらに世界の発展に役立ててください。」との告辞があり、引き続き全日本船舶職員協会の及川武司専務理事からは、新たに社会へ船出する卒業生たちへの温かいはなむけの言葉が祝辞として贈られました。

続いて、在校生代表の吉田圭佑学生会長(国際ビジネス学科4年)からの送辞を受け、卒業生・修了生を代表して高柳健伸君が、乗船実習の試練を乗り越え、人間として大きく成長できたことの喜びと支えてくれた周囲の方々への感謝の気持ちを述べ、「本校での思い出と経験を胸に、前に進んでいきたい」と力強く答えました。

最後に卒業生たちは、帆船の出航時に船乗りが来客に対し謝意を伝えるために行われる「登檣礼(とうしょうらい)」の儀式に倣って「ごきげんよう」を三唱した後、制帽を投げるパフォーマンスを行い、出席者からは卒業生たちの新たな人生への船出を祝って大きな拍手が贈られました。



商船学科実習生
担任

見上 博



Let Go All Shore Lines!

船上が補給の効かない運命共同体であることを、身をもって経験してきた君たちは目の輝きと身のこなしの変化でいかに鍛えられ成長したかがすぐにわかります。わたくしは毎年それを見るのが楽しみです。それもこれが最後です。卒業は人生の1つの節目に過ぎず人生は常に連続しています。出会いには必ず別れがついてきて、別れはまた新たな出会いの始まりであると思います。

厳しい世界を体験して本質が垣間見えてくると、世界を構成している要素が派手で目立ったものよりも実は当たり前の物が当たり前動いていて、ごく普通に営まれていることに気づき、それぞれが必然であるというふうに感じませんでしたか? その当たり前の要素たちがわたくしたちに発する問いには一般に厳密解はなく、百人いれば百の正義があるように実に多種多様で所謂正解というものはないかもしれません。それが人生の醍醐味と思えば欣快。勘と度胸とやせ我慢で(笑)さあ、出発だ!

海事システム工学
専攻 担任

経田 僚昭



修了おめでとうございます

平成29年度専攻科海事システム工学専攻修了生の皆様、修了おめでとうございます。また、学位が授与されたことは担任としても嬉しい限りです。2年間の専攻科での単位の取得と研究を続けてきたなかでは、多くの苦労もあったかと思えます。本科を9月に卒業してから10月に入学し、半年も経たないうちに就職活動が始まりました。研究センターとなる専攻科の学生生活に慣れ始めた頃、すぐに修了後の進路を決めるのは大変だったと推察しております。その変化の荒波の中で、心身ともに健康を維持しながら勉強に励み、研究に打ち込み、それら学業生活に伴う苦労の経験はこれから社会に出ても必ず役立つものとなります。これからの人生において、判断に迷ったときや辛いときはこの本科での5年半の授業と実習、専攻科で学んだ2年間の経験を思い出し、落ち着いて対処すれば困難を乗り越えることができます。ストレスをためず、これからも元気で過ごしてください。

学生のクラブ活動・課外活動

第52回全国高等専門学校体育大会

平成29年8月19日(土)～27日(日)
多くの学生が団体競技、個人競技に出場して、
優秀な成績をおさめました!

バスケットボール

平成29年8月26日(土)・27日(日)
ホワイトリング 長野市真島総合スポーツアリーナ

 射水キャンパス男子バスケットボール部



水泳

平成29年8月26日(土) 栃木県立温水プール館

男子100m背泳ぎ		山元 樹(電子情報工学科2年)
男子200m背泳ぎ		山元 樹(電子情報工学科2年)
女子100m平泳ぎ		甲谷 葵(商船学科2年)
男子200m平泳ぎ		石田 悠人(物質化学工学科1年)

陸上競技

平成29年8月26日(土)・27日(日) 松本平運動公園陸上競技場

男子総合		射水キャンパス陸上部
男子100m		五十嵐 晴紀(商船学科2年)
男子200m		五十嵐 晴紀(商船学科2年)
男子110mH		堀井 直樹(商船学科5年)
男子4×100m		五十嵐 晴紀(商船学科2年) 谷口 響(電子情報工学科1年) 五十嵐 海翔(商船学科1年) 駒井 宏至(電子情報工学科3年)
男子砲丸投		館田 瑛史(電子情報工学科2年)
男子円盤投		石動 智也(電子情報工学科4年)
女子総合		館田 瑛史(電子情報工学科2年)
女子100m		射水キャンパス陸上部
女子円盤投		松本 英里(国際ビジネス学科5年)
女子やり投		飯野 結貴(国際ビジネス学科3年) 二塚 咲来(国際ビジネス学科4年)

柔道

平成29年8月26日(土)・27日(日) 長岡市市民体育館

男子90kg超級		竹脇 壮志(電子情報工学科5年)
男子90kg級		梶谷 尚希(機械制御システム工学科5年)
女子63kg級		本田 和香奈(物質化学工学科3年)

第72回国民体育大会「笑顔つなぐえひめ国体」に出場!

平成29年9月30日(土)～10月10日(火)に開催された第72回国民体育大会「笑顔つなぐえひめ国体」において、
陸上競技、ゴルフ競技に出場しました。

陸上競技

成年少年男子共通4×100mリレー 決勝6位 谷口 響(電子情報工学科1年)

ゴルフ競技女子

女子個人 青山 颯希(国際ビジネス学科2年)
女子団体 青山 颯希(国際ビジネス学科2年)

吹奏楽部(本郷キャンパス)第28回定期演奏会 平成29年10月9日(月・祝) 富山県教育文化会館

吹奏楽部(本郷キャンパス)が「No Name Players' Concert 28th」を開催しました。マーチ「汐風のマーチ」、「ひまわり」、「Sing,Sing,Sing」など3部構成10曲、約2時間の演奏会となりました。演奏以外にも、第2部の「NITTミュージカル劇場」では、コミカルなミュージカルが上演されました。



第24回全国高等専門学校将棋大会

平成29年8月23日(水)～25日(金) 三重県菟野の湯の川温泉グリーンホテル

女子個人戦  湊 梨緒(物質化学工学科2年)

第2回 高専生サミット on KOSEN Science and Technology

平成29年9月13日(水)～15日(金) 沖縄工業高等専門学校

沖縄高専校長賞 橋本 竜大(電気制御システム工学科2年)

第14回 WRO (World Robot Olympiad) Japan 決勝大会

平成29年9月17日(日) BumB東京スポーツ文化館

 (WRO2017コスタリカ国際大会出場) 李 知祐 (電気制御システム工学科2年)
木村 亮一(電気制御システム工学科1年)
竹森 晃大(電気制御システム工学科1年)

高専祭 — 志峰祭 —

開催日時：平成 29 年 11 月 11 日(土)、12 日(日) 開催場所：本郷キャンパス
本郷キャンパスが知的探検をテーマに賑わった2日間



Intellectual Expedition (知的探検)

学生会長

機械システム工学科
4年

松坂 拓郎



私は今回の志峰祭のテーマがなかなか好きです。少々言いにくくはありますが、高専にはとてもあっている言葉だと思います。

——好奇心をくすぶるものづくりと科学の世界である高専。そんな世界に足を踏み入れた冒険者(来場者)たち。賑やかな露店通りを抜け、高くそびえる迷宮(校舎)に入ると、そこには迷宮の住人達(学生や教員)の知の結晶が散りばめられていた……

ちょっとした本が書けそうです。

さて、今回の志峰祭ではテーマとして「知的探検」と題して開催されました。その題の通りの志峰祭であったと思います。今回の展示企画では、クラス企画で1～3年生の授業紹介を展示され、学科展示や技術室では体験型の実験や企画が数多く出され、私たち執行部でも体験型の2つの企画ブースを展開しました。模擬店企画では、留学生による母国料理の模擬店出店がされ、食の異文化交流ができました。これからの志峰祭も、普段とは異なる刺激的な日を目指して発展させていってほしいと思います。

高専祭を終えて

第9回高専祭実行委員長

物質化学工学科4年

竹内 千尋



今回のテーマは「Intellectual Expedition」でした。知的探検という意義があり、見るだけではなく、実際に体験して高専のよさや魅力をいろんな人に感じてほしいという思いを込めてこのテーマにしました。運営する上で、私自身戸惑うことも多くありましたが、周りの方々に支え助けられ、高専祭を大きな成功へと導くことができました。

第9回高専祭—志峰祭—を開催するにあたりご協力いただいた学生の皆さん、先生方、その他関係者の皆様に感謝申し上げます。

次へと繋ぐ志峰祭

第9回高専祭実行委員

電気制御システム
工学科 2年

高橋 和希



私は高専生として初めての志峰祭を執行部役員として迎えました。前夜祭を含め、この3日間は実に中身の濃い3日間となり、主に執行部企画の資料作成、展示品の説明、会場設営等を仕事としていました。初日は生憎の悪天候でしたが2日間ともたくさんの方々にご来校いただき、本当に嬉しく思います。初めてということもあり先輩方の足を引っ掛けてしまい、とても悔しい思いもありました。2年後は私たちの学年が中心となり運営を行う事になりますが、今回の経験を糧によりよいものとなるように努めていきたいです。

志峰祭に参加して

商船学科
航海コース3年

磯部 文



私は、文芸同好会の模擬店で本郷キャンパスの志峰祭に参加しました。文芸同好会では、パンケーキとドリンクを販売し、部員の書いた部誌も配布しました。呼び込みに回った成果が満席になることも度々あり、お店はとても繁盛し、パンケーキを完売することができました。本郷キャンパスの模擬店もおいしいものばかりで、力を入れているのが伝わってきました。大変忙しい1日でしたが、楽しく接客ができ、とても充実した有意義な時間を過ごすことができました。



高専

ロボコン



アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2017
東海北陸地区大会

平成29年10月15日(日) 三重交通G スポーツの杜 伊勢 体育館(三重県伊勢市)

激しいぶつかり合いとなった 「大江戸ロボット忍法帳」!

大会結果

本郷キャンパスAチーム「忍者ハットリくん」

👑準優勝

本郷キャンパスBチーム「θ」

👑ベスト8



今年度の高専ロボコン東海北陸地区大会は鳥羽高専が担当校となり、10月15日(日)に伊勢市の三重交通G スポーツの杜 伊勢で開催されました。

富山高専本郷キャンパスからはAチーム「忍者ハットリくん」(ニンジャハットリくん)とBチーム「θ」(シータ)が、射水キャンパスからはAチーム「sea鯽's」(シーブリーズ)とBチーム「tachyon doll」(タキオン ドール)が、それぞれ出場しました。今年度の課題は、10年ぶりにロボット同士が直接接触する競技となり、激しいぶつかり合いに会場内は盛り上がりましたが、試合中にロボットが壊れ、修理のために試合開始が遅れることもある波乱含みの大会となりました。

大会の結果、本郷キャンパスAチーム「忍者ハットリくん」(ニンジャハットリくん)が準優勝し、2年連続となる全国大会出場を決めました。ロボコン30周年記念大会となる全国高等専門学校ロボットコンテスト2017は、12月3日に有明コロシアムで行われます。



2017年の競技課題 『大江戸ロボット忍法帳』

今年の競技は、2台のロボットが様々なアイデアを駆使し、相手の風船を割り合います。ロボットに風船が5個ずつ、赤・青チームの本陣にそれぞれ10個ずつ風船が取り付けられています。相手チームの本陣、または相手ロボット2台のすべての風船を割ると勝利となります。人の手が届かないような位置にある風船をロボットがどのように割るのか？ 動いている相手ロボットの風船を正確に割る技術とは？ 各チームが自作する、風船を割るための「秘密道具」も設けられるなど、ロボットの多様性が高まる競技課題でした。忍法帳とは、忍者が様々な忍術を記したものとされています。あらゆる状況、障害を想定し、それを乗り越える技が記載されており、それは代々受け継がれていきます。



本郷キャンパス

チーム構成

Aチーム 忍者ハットリくん(ニンジャハットリくん)	
指導教員	田尻 智紀先生
メンバー	窪田 太一(電気制御システム工学科4年) 松平 知樹(電気制御システム工学科5年) 川村 翔馬(電気制御システム工学科4年)
Bチーム θ(シータ)	
指導教員	井澤 正樹先生
メンバー	平田 健太郎(電気制御システム工学科3年) 水上 裕太(機械システム工学科2年) 田村 太一(電気制御システム工学科2年)



Aチーム

電気制御
システム工学科4年
窪田 太一



富山本郷を強豪に!

今年の競技はロボット同士の直接対決でした。自分達のロボットを完成させることはもちろん、相手のロボットを想定して作戦を練ったり、練習をしたりと大会まで安心することのできない競技でした。

トーナメントが発表された大会前日の夜には、相手のロボットを分析し自分達はどうか動くべきかと必死に考えていました。その甲斐もあり無事(?)に決勝戦まで勝ち進むことはできましたが、最後は余裕のなさからミスをしてしまい、安定感のある石川高専に敗れてしまいました。地区大会連覇は成し遂げられなかったものの、審査員推薦によって全国大会への出場権を手に入れることができました。

2年連続全国大会出場は富山高専初であり、「強豪」富山本郷への歩みを着実に進めていると思います。この流れを断ち切らないためにも後輩の指導により力を入れていきたいです。

To the next step

今年のBチームは、3年生および2年生が中心となって3台のロボットを製作し、人間の腕のような機構でムチを振り風船を割るロボット、矢を撃つことで遠距離射撃を行うロボットの2台が試合に出場しました。

初戦は2台のマシンで攻撃し優勢で勝利しましたが、2戦目では地区大会で唯一、相手ロボット1台の風船をすべて割り行動不能にしたものの、ロボットの転倒や電気的なトラブルが発生し、残念ながら敗北。地区大会ベスト8の結果に終わりました。

こうして大会を終え、私達の中の課題点、そして来年目指す目標は明確になったと感じています。設計・加工・制御・回路それぞれの分野を担当する人がそれぞれの問題点を理解し、オフシーズンでの活動や、他高専との交流を通して技術力およびチームワークを向上させ、来年のロボコンにおいては2年連続全国大会出場という先輩方の偉業を引き継いで強豪富山本郷の一員となれるよう目指してゆく次第です。

Bチーム

電気制御
システム工学科2年
田村 太一



射水キャンパス

チーム構成

Aチーム sea獅's(シーブリーズ)	
指導教員	山口 晃史先生
メンバー	竹内 克輝(電子情報工学科4年) 島田 拓海(電子情報工学科4年) 長谷川 大起(電子情報工学科4年)
Bチーム tachyon doll(タキオンドール)	
指導教員	山田 圭祐先生
メンバー	木原 正志(電子情報工学科3年) 柳瀬 拓馬(電子情報工学科2年) 赤澤 夏葵(国際ビジネス学科3年)



Aチーム

電子情報
工学科4年
竹内 克輝



チームで挑んだロボコン

今年の大会は、全国大会へ行きたい気持ちがいっつもより大きかったと思います。それは今年ロボコン30年の節目、一度は全国大会に出場したい、チーム全員が4年生…など色々な思いがあったからです。私たちはお互いを認め率先して作業し、足りないところは自然に補い、そして不協和音は笑いに変わる。半年間とても素晴らしい時間をチームで共有できたことが嬉しかったです。

地区大会では初戦敗退という結果に終わりましたが、エキシビジョンマッチに出場する機会をいただき、ロボットのすべての機構を会場のみなさんに見てもらうことができました。来年は最後のチャンス。もし出場の機会があれば、みんなで喜びを分かち合いたいと願っています。最後に、チームや先輩の皆さん、そして教職員の皆様に応援と多大な支援をいただきました。ありがとうございました。

ロボコンを終えて

今年の競技を一言でいうと、ロボットによる「ちゃんばら」でした。風船を潰すだけでなくロボット同士が激しくぶつかりあうこともあり、当初から熾烈な戦いが予想されていました。私達のチームは激しいぶつかり合いをシミュレーションし、何度も設計の変更を行ったり、電気回路の改良を行ったり、壊れた機械の修理作業が毎日夜遅くまで続きました。今年は初戦で敗れてしまいましたが、大会までの活動を通じて、スケジュール管理の難しさ、技術の足りない部分が浮き彫りとなった大会だったと思います。来年は完全燃焼できるようにがんばっていきたくです。

最後に、毎日部活動に参加してくれた部員、常に有益なアドバイスをいただいた技術職員の皆さんや先生方、外部との連絡調整をいただいた学生課と管理課の皆さんにとってもお世話になりました。ありがとうございました。

Bチーム

電子情報
工学科3年
木原 正志



ものづくり・流通の現場を体験して

Study Tours

本郷キャンパス

機械システム
工学科4年

前沢 優斗

開発現場をこの目で見て



私達は、SUBARUテクノ東京事業所、新日鐵住金鹿島製鉄所、JALエンジニアリング、鉄道博物館を見学させていただきました。どの企業も環境保全や資源の再利用に積極的に取り組んでいたことが印象的でした。環境保全においては、多くの有害物質を含む排ガスは、人体へ悪影響を及ぼすPM、NOx等に特に厳しい規制が設けられており、排ガスの成分の調整や、排出量の削減が重点的に行われていました。今まで人体や環境に悪影響を及ぼす有害物質について、深く考えたことはありませんでしたが、製品を開発する上で重要なことだと気づくいい機会になりました。今回の見学で製品開発の難しさ、楽しさを知るとともに、様々な経験と知識を得ることができました。これらを、今後の進路を具体的に考えていくための材料として生かしていきたいです。

見学先

SUBARUテクノ(株)東京事業所、新日鐵住金(株)鹿島製鉄所、JALエンジニアリング、鉄道博物館

本郷キャンパス

電気情報システム
工学科4年

高畑 昌真

高専生はロボット工学の夢を見るか？



私達電気制御システム工学科は、CYBERDYNE STUDIO、JAXA、三菱重工、東京電力川崎火力発電所、富士電機、SONY厚木テクノロジーセンター、千葉大学の7カ所を見学しました。特に印象に残っているのは、CYBERDYNE STUDIOです。脳からの電気信号を検知し、それによってロボットを動かすという技術に驚愕しました。この技術により、重い物を簡単に持ち上げたり、体に障害を負った人でも健康者に近い生活を送れたりするようになるのは非常に素晴らしいことだと思いました。幾つかの企業では高専卒の方が、会社での仕事内容や、高専ではどういったことをしていたかを説明してくださいました。今回の見学は、私たちの将来を決める要素の大きな一つになったのではないかと思います。今後は将来を確固たるものにするため、勉学に励んでいきたいです。

見学先

CYBERDYNE STUDIO、JAXA 筑波宇宙センター、三菱重工業(株)相模原製作所、東京電力フエール&パワー(株)川崎火力発電所、富士電機(株)東京工場、ソニー(株)厚木テクノロジーセンター、千葉大学工学部

本郷キャンパス

物質化学
工学科4年

武藤 諒

驚くことの多い香料の世界



私たちは、4日間の工場見学の中で塩野香料の工場に行きました。工場で香料についての説明を受けたあと、香料の開発、生産、歴史について見学しました。歴史館に置いてあった器具類は実験室にあるものの数倍もあり、かなりの大きさだったので、どう使うのか不思議でした。花の香りや料理の匂いなどを再現した香料サンプルが何種類か置いてあり、中でもナポリタンの匂いはまるで本当に食べているかのようでした。香料の説明のなかで、ガス臭さはガスそのものの臭いではなく、実は香料でつけたものだと知り、その発想に驚きを感じました。また、酢酸を含む4種類の香り成分を同時に嗅ぐと、イチゴの匂いになるという体験をさせていただきました。新しく見るもの、新しく知ったことが多く香料の世界にとっても興味を惹かれました。

見学先

サントリービール(株)京都ビール工場、塩野香料(株)大阪工場、ダイキン工業(株)淀川製作所、大阪大学産業科学研究所、(株)島津製作所三条工場

本郷キャンパス 9月25日～29日(うち4日)
射水キャンパス 10月24日～27日

射水キャンパス

バラエティに富んだワークスタイル

電子情報
工学科4年

高橋 亜香音



想像とのギャップに驚いた3日間でした。私は就職した後どのように働くかをあまりつかめておらず、「9時出社、ひたすらデスクワーク、残業、退社」という生活をただひらすら繰り返すんだろうな、と考えていました。しかし、見学を通してその固定観念が払拭されました。

例えば、ミクシィや日本HPのように、自発的に新しいことを学び挑戦することを推奨している企業もあります。一方で、NTT-MEサービスや何年もかけて資格を取るANAのように、一つの分野のプロフェッショナルを目指す企業もあります。

3日間の工場見学で、多様な働き方に触れました。今まで見てこなかった部分を実際に見聞でき、とても有意義な時間を過ごせました。見学させていただいた企業の皆様、お忙しい中大変貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

見学先

(株)ミクシィ、(株)NTT-MEサービス、全日本空輸(株)機体工場、(株)日本HP、サントリービール(株)東京・武蔵野プルワリー

射水キャンパス

幅広い視野から見る進路選択

国際ビジネス
学科4年

山崎 若菜



私たち国際ビジネス学科は、SBフレームワークス、東京税関、経済産業省、全日空を見学させていただきました。各企業で活躍する卒業生の方にお話を伺う機会もありました。同じ業務をこなすイメージのある仕事も企業内で様々な仕事があることを知って意外でした。先輩方は楽しそうに私たちにお話してくださって、その職場の魅力を感じました。また、ホテルによってサービスや施設などが異なるのは、ホテルの経営方針の違いだと考えました。

3日間の流通見学は本当に充実したものになりました。私は高専卒業後、大学編入を希望していますが働くことにも関心を持ちました。また、自分の将来を定めることも重要ですが、視野を広げて様々な仕事を見ることも進路選択に役立つと思いました。お忙しい中、私たちのために時間を割いてくださった方々に感謝したいです。

見学先

SBフレームワークス(株)、東京税関、経済産業省、全日本空輸(株)、慶応義塾大学三田キャンパス

射水キャンパス

若潮丸乗船実習について

乗船実習(商船学科3年)11月1日・2日

商船学科
航海コース3年
小柴 菜歩

商船学科3年の後期若潮丸実習が11月1日・11月2日に行われました。2日間とも富山新港で入出港しました。いつもなら船酔いで体調が悪くなる人が多いのですが、天候がよく船酔いする人がおらず、授業も集中して受けられました。授業では、航行中の船の現在地を灯台や煙突などの物標から導き出したり、航行中の操舵もしました。また航海当直基準や船員法などの規則も学びました。クラスの仲間と作業を協力し合い、お互いを高めることができたと思います。3年間で若潮丸実習や1カ月の乗船実習の日々の積み重ねにより、入出港作業や航行中の見張りや操舵など自分たちでできることが増え、とても楽しく充実した実習でした。



県内工場見学

10月27日(3年生)

機械システム工学科
電気制御システム工学科
物質化学工学科
電子情報工学科
国際ビジネス学科
商船学科

(株)不二越、アイシン新和(株)
北陸電力(株)
日東メディック(株)、協和ファーマケミカル(株)
東亜合成(株)高岡工場、コマツNTC(株)福野工場
(株)富山第一銀行 本店、YKK(株)黒部事業所
富山船舶(株)、YKK(株)黒部事業所

本郷キャンパス

原発研修を終えて

電気制御
システム工学科3年

神田 皆人



風力発電所、太陽光発電所では、広大な発電施設を見ながら「エネルギーミックス」の必要性について教わりました。見学させていただいた風力発電機9台と太陽光発電パネル4,815枚の1年間の発電量を合計しても、志賀原子力発電所が2機とも稼働している時の24時間分の発電量にも満たないということに衝撃を受けました。

原子力発電所見学では、バス内からの全体の説明のあと、緊急時連絡棟の中に入れていただきました。高さ4mの防潮堤を設置したことや、発電所全体の排水設備などの説明を受け、「福島事故以降」や「津波に対する安全対策」という言葉をよく耳にしました。東日本大震災以降、原発は危険であるという考えが広まっています。安定した電力供給が理想の現代社会において、原子力発電を恒久的に安全に使う方法を見つけるのが課題なのだ実感しました。

射水キャンパス

夢ひろがる、企業見学!

国際ビジネス学科
3年

円谷 美春



私たちは富山第一銀行とYKK黒部事業所を訪問しました。富山第一銀行に到着すると、荘厳な雰囲気自然と背筋が伸びました。銀行では、人との繋がりや細やかな気遣いが大事であることを教わりました。お金を扱う職業なので、冷たく恐れ多いという印象がありましたが、行員の方は実に温かく親身になって接してくださいました。

YKKでは丸屋根展示館を見学し、様々な苦難を乗り越えてこられた歴史や、何事にも善を尽くし、それが報われ、巡り続く「善の循環」というYKKグループ精神に触れ、深く感動しました。またOB・OGの方々のお話は、「働くこと」を考える上で非常に参考になりました。

これから大人になる私たちがどんな社会人になるのか分かりませんが、誰かのために心を砕ける人になりたい、そう思える機会となりました。

校外研修

10月27日(2年生)

本郷キャンパス YKK(株)、ものづくり見本市
射水キャンパス 岐阜県高山市内見学

本郷キャンパス

いい刺激もらった校外学習

機械システム
工学科2年

高慶 泉美



校外学習で、YKKものづくり見本市へ行きました。

YKKで印象に残っていることは二つあります。一つ目はセンターパークで見たビデオです。これまでのYKKの歩みが紹介されていて、逆境での粘り強さや探究心が会社を大きくしたのだとわかりました。二つ目は技術道場の見学です。旋盤、フライス盤を仕事として取り組んでいる姿を初めてみました。真剣に仕事される姿がとてもかっこよく、憧れます。私も粘り強く向上心を持って仕事に取り組める大人になりたいです。

ものづくり見本市では、多くの企業からそれぞれの特色について説明してもらいました。改めてものづくりの多様性を実感しました。どれも魅力的で自分が将来どの道に進もうかますます迷いました。

射水キャンパス

初めて高山に行ってみて

電子情報システム
工学科2年

藤田 直哉



私たち射水キャンパスの2年生は、岐阜県の高山市内に遠足に行きました。高山へ行くのは初めてだったので計画を立てるときから楽しみでした。高山で最初に行ったのは、高山陣屋でした。そこは300年以上も前の飛騨の歴史がわかる全国に唯一現存する郡代・代官所で、当時の生活などがわかり、とても興味深かったです。その後は班ごとに高山市内を散策しました。雑貨屋やお土産屋などがたくさんのお店が並ぶ古い町並みを散策したり、飛騨牛の串焼きなどの高山グルメを食べ歩いたりしました。海外からの観光客もたくさんいて、とても賑わっていました。時間こそ限られていましたが、天候にも恵まれ、友達ともより仲が深まり、いい遠足となりました。

本郷キャンパス

教務主事

柴田 博司



集中する時間

スポーツや趣味など、楽しいことや興味のあることに取り組んでいると、時間があっという間に過ぎていくと感
 じることがあるものです。逆に、興味のない作業などでは、終わりの時間が待ち遠しくなるほど時間を長く感じる
 ことがあります。

生物学的には、時間の単位は体重に比例していて、大きい動物ほど時間の刻みはゆっくりしているといわれて
 います。生物固有の時間の流れはそれぞれ違うということです。集中していたり、楽しい作業で時間を忘れるとい
 うのは、このときに生物時計がカウントを忘れている状態なのかもしれません。生物時計が止まるとスポーツで
 いうロスタイムが発生したことになりますから、寿命の総時間が延びることになります。集中する時間があると長
 生きできるのかもしれませんがね。

学校の勉強も興味を持って集中すれば、生理的時間カウントを忘れて、1日があっという間に終わってしまうこ
 とでしょう。集中するためには、話を聞くだけの受け身の姿勢ではいけません。まずとっかかりを見つけて、そこ
 に自発的に集中するような積極的な行動を持つことが大事です。皆さんが、楽しく集中して、毎日の学校生活を
 有意義なものにされることを期待しています。

射水キャンパス

教務主事

塚田 章



高専と高校の違い

役職柄、高専と高校の違いは何なのかを考える場面がよくあります。オープンキャンパスでは、5年一貫教育、
 楔形教育、実践的教育であると説明しています。すなわち、15歳の頭の柔らかい時期から徐々に専門を学ぶこ
 と、そして、それを実務に近い実験・体験を通して身につけていくことが特徴です。出口では企業や大学に高評価
 を得ています。

先日、中学校の校長先生を招いて意見交換をする場がありました。「目的意識を持った学生は非常に伸びること
 がわかった」と言われたことが気になりました。目的意識の低い生徒は高専についていけなくなると思われた
 のか？ 本校では入学してほしい人物像に、それぞれの分野に対する目的意識をもった人を謳っており、確かに
 そんな学生は入学して確実に伸びます。しかし、明確な目的意識をもたずに入学してくる学生も多いと感じて
 います。

安心してください。高専では冒頭の教育を通して、学生が自身の向かうべき道を模索し決定する時間と機会が
 あり、そこが高校にはまねのできないところだと私は思います。自ら考えたことを実現するときに経験する多くの
 失敗と成功、それがあなたの道を切り開き、あなたを成長させてくれるでしょう。

平成29年度企業研究会

平成29年度企業研究会を11月16日(木)(15:30~17:20)本郷キャンパス第一体育館にて開催しました。本研究会は本
 校技術振興会の会員企業様をお招きし、本校学生が企業の方々から直接お話を伺う機会を設定するものです。企業に
 対する理解を深めるキャリア教育の一環として、全学生を対象に毎年1回実施しています。学生諸君が、実社会における
 企業の多様な業務内容やビジネスモデル、さらには企業の求める人材像について知見を深め、将来に向けてキャリア
 形成意識を高めることを目的としています。

昨年度までは、土曜日に開催しておりましたが、今年度は本研究会を平日午後からの開催と致しました。今回は、本校
 技術振興会会員様110社に及ぶ多数のご参加協力をいただきました。本校学生の参加内訳は、本郷キャンパス3年、4年
 及び専攻科1年の計289名、射水キャンパス4年及び専攻科1年の計88名、本郷キャンパスの上記以外の学年9名、保護
 者9名、以上あわせて学生側合計395名の参加となりました。射水キャンパスからはバス移動による参加にもかかわらず
 多数の学生が参加しました。

会場では、企業ごとに分かれたブースを学生が訪れ、対面形式で各企業の業務内容や特徴、求めている人材等の説
 明を聞く形式で行われました。企業様含めて600名近くが参加した会場は熱気に溢れ、学生は熱心に説明を聞き、今後
 の進路やキャリアについて考える大変貴重な機会となりました。本研究会実施にあたり、多数ご参加いただきました本
 校技術振興会会員企業様、また、本校において設営および運営、そして学生指導にご協力をいただきました関係各位に
 厚く御礼申し上げます。



Toyama Kosen News & Topics

ニュース&トピックス

富山高専ホームページTopicsもご覧ください。
(<http://www.nc-toyama.ac.jp/>)

保護者との懇談会を開催

本郷キャンパスでは7月22日に学科別懇談会を、射水キャンパスでは9月15、19、20日に学科別進路説明会を、それぞれ開催しました。各学科の学科長から保護者の皆様に対して、進路選択の考え方、昨今の企業や大学の状況、資格取得などについて、実際の就職・進学状況などを交えながら、説明を行いました。

志峰祭で星奈津美氏、福野泰介氏が講演

高専祭初日には、3大会連続でオリンピックに出場し、2大会連続でメダルを獲得した星奈津美氏(ミズノスイムチームコーチ)が、「水泳が私に教えてくれた事」と題して講演。2日目には、福井高専OBで、世界初の携帯電話用ダウンロード型フルブラウザ「jigブラウザ」開発者であり、内閣官房IT総合戦略室の「オープンデータ伝道師」を務める福野泰介氏が、「時代は高専生を求めている! 高専



生活を100倍楽しむライフハック」と題して講演されました。

2017富山高等専門学校講演会

12月6日、富山市芸術文化ホール(オーバード・ホール)において「2017 富山高等専門学校講演会」が開催されました。

今回は作家で明治天皇の玄孫にあたる竹田恒泰氏をお招きし、「日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか」と題した講演が行われました。

竹田氏は、約1800名の学生、保護者、教職員を前に、日本の国の成り立ちをふまえて、日本の産業技術の優れた点や仕事に対する考え方について、ユーモアを交えながらわかりやすく説明されました。

学生からの「グローバル化する社会についてどのように考えればよいか」などの質問にも、一つ一つ丁寧に答えになりました。

教員表彰

高田英治 教授	平成28年度国立高等専門学校教員顕彰 一般部門 「理事長賞」
山本桂一郎 教授の研究グループ	(公財)精密測定技術振興財団 「品質工学賞発表賞銀賞」
海事人材育成プロジェクト (代表者：山本桂一郎教授)	(公社)日本航海学会 「平成28年度航海功績賞」
遠藤真 名誉教授	文部科学省・農林水産省・経済産業省・国土交通省・環境省 「第10回海洋立国推進功労者表彰」
喜多正雄 准教授	アメリカセラミックス協会 「The 2017 Richard and Patricia Spriggs Phase Equilibria Award」

富山高等専門学校

平成30年度入試情報

学科生募集

中学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者などを対象として、次の6学科に平成30年4月から学生を受け入れます。入学者の選抜は、推薦による選抜、学力検査による選抜、帰国子女特別選抜の方法で行われます。なお、推薦選抜の募集人員は各学科とも入学定員の50%以内とします。

募集人数

本郷キャンパス

機械システム工学科	入学定員	40名
電気制御システム工学科	入学定員	40名
物質化学工学科	入学定員	40名

射水キャンパス

電子情報工学科	入学定員	40名
国際ビジネス学科	入学定員	40名
商船学科	入学定員	40名

選抜方法

推薦による選抜

出願期間	平成30年1月9日(火)～1月11日(木)
検査日	平成30年1月21日(日)

学力検査による選抜および帰国子女特別選抜

出願期間	平成30年1月29日(月)～2月1日(木)
検査日	平成30年2月18日(日)

なお、入試関係情報の詳細については、学生募集要項または下記でご確認ください。

申込・
お問い合わせ

本校HP入試情報

<http://www.nc-toyama.ac.jp/>

本郷キャンパス学務課 入学試験担当

電話 076-493-5498

射水キャンパス学生課 入学試験担当

電話 0766-86-5145